



多摩市立瓜生小学校

学校だより

平成29年度 第3号

平成29年 5月31日

教育の「旬」とは

学校長 吉田 正行

5月27日、前日からの雨で校庭の状態が心配されましたが、青空のもと平成29年度第22回運動会を実施することができました。ご多用中にもかかわらず、応援に来ていただいたご来賓、保護者、地域の皆様には感謝をいたします。また、全校ダンスやPTA競技などにも積極的にご参加いただき、子供たちも嬉しそうでした。さらに、最後までお残りいただき、後片付けを手伝ってくださった皆様、本当にありがとうございました。子供たちは自分のもっている力を全て出し切り、一人一人が輝いた運動会となりました。

さて、先日、テレビ番組で旬の野菜についての話がありました。旬（しゅん）の食材とは他の時期よりも新鮮でおいしく食べられる時期であり、栄養価も高いということです。

ほうれんそうは冬が旬の野菜ですが、同じ産地のほうれんそうで、夏場のほうれんそうのビタミンC含有量を調べてみると、冬場のほうれんそうの1/3程度になってしまいます。冬に栄養価が高いのは寒い冬を越すために栄養を蓄えているのだそうです。また、夏が旬のトマトは、それ以外の季節のトマトに比べると、1.5倍ものビタミンCを含んでいます。きっと夏の強い日差しを受け、暑さのストレスに耐えるために栄養が蓄積されるのでしょう。

この話を聞いて、これは人間の発育にも言えることではないかと思いました。様々な困難に遭遇した時、我慢し、悩み、考え、その問題の解決に全力を注ぐ。苦しいですが、その過程を経ることによって、他人の痛みがわかり、知識や豊かな感性をもつ人間に成長するのです。その意味では、運動会に向けての取組や当日の体験を通して、子供たちは心の中にたくさんの栄養を蓄え、大きく成長したに違いありません。

徒競走で2位になり悔しそうにうなだれる子、何度も練習して表現の振り付けを覚えた子、組み体操で難しい技に何度も挑戦して友達との信頼関係を築きあげた子、声をからして応援した応援団。真剣にやったからこそ、心の中に何か大切なものが刻まれたはずです。一瞬も目が離せない宝物のような運動会となりました。

また、練習が給食時間まで延長してしまった5.6

年生のために、全員の給食を3.4年生が準備してあげるという心温まる裏話を聞き、行事を通して子供たちの心が大きく成長したことを感じました。

話は変わりますが、今年、スカイツリーが開業5周年を迎えました。円筒形のように見えますが、底面は正三角形の形をしています。これは、建築工学上強度に優れているというのが理由だそうです。3つのバランスがしっかりとれた土台があればこそ、その上に大切なものが積み重なるのだと思います。

教育の「旬」である小学生のこの時期、困難を乗り越えさせて基礎をしっかりとつくり、知・徳・体、三つのバランスがとれた人間として成長させることは極めて重要です。これからも教職員一同、一致団結して価値ある教育活動を推進して参ります。皆様のお力添えをいただきますようよろしくお願いいたします。



5.6年表現One for all, All for one